

新型コロナウイルス感染予防ガイドライン

2020年12月7日

一般財団法人教育支援グローバル基金

当財団では、新型コロナウイルス感染拡大の懸念を鑑み、感染予防ガイドラインを制定しています。新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑みながら、参加学生や関係者の安全を考慮し、また、活動に尽力する職員やボランティアなどスタッフが安心して働ける環境を整備しつつ、困難な状況にある若者への機会提供という取り組みを継続できるよう、当面の間、本ガイドラインに則って活動しております。当財団が運営する活動への参加学生、関係者の方々、職員やボランティアの皆様におかれましては、ガイドラインに則り、感染予防対策の徹底をお願いいたします。予防対策は自身の安全を守るだけでなく、周囲の方々の安全を守るためでもあります。ご不便が生じる可能性もありますが、何卒ご理解・ご協力をお願いいたします。また、新型コロナウイルス感染症は誰もが感染する可能性があります。感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等が生じないようにご理解とご協力をお願いいたします。

1. プログラムの開催方法について

当財団では、例年、対面で開催してきた人材育成プログラムおよび面接選考を、可能な限りオンラインに切り替えて行っています。対面でのプログラム（面接選考含む）を実施する際は、参加者、関係者の方々、職員やボランティアの方々に、下記「2. 対面でのプログラム開催時について」の遵守をお願いしています。

2. 対面でのプログラム開催時について

【プログラム参加前】

i. 体調管理

プログラム開始7日前から、「健康チェックシート」への記入をお願いします。「健康チェックシート」は、参加前に提出していただきます。

ii. 体調不良者等の参加禁止

以下に該当する場合は、プログラムに参加できません。

- ・発熱がある（37.5度以上または平熱比+1度以上）
- ・息苦しさ（呼吸困難）・強いだるさがある
- ・咳・咽頭痛がある（軽度であっても）
- ・その他体調が優れない
- ・過去2週間以内に、感染が引き続き拡大している国へ訪問したことがある

iii. 遠距離交通について

（遠距離の方のみ）自宅から集合・解散場所までの交通（飛行機・新幹線・特急など）を当財団が手配します。当財団が手配した以外の交通手段を使用しないでください。

【プログラム参加中】

i. 会場使用について

プログラム会場は、通常定員の半数以下となるよう手配しています。

ii. 物品の準備

以下の物品を必ずご持参ください。

- ・マスク（必ず毎日交換してください。マスクを着用していない場合は、プログラムに参加することはできません）
- ・体温計（「健康チェックシート」の記入のために必要です）

以下の物品を、当財団が準備しています。

- ・アルコール消毒液（各自の手の消毒および、各会場のドアノブ、電気スイッチおよび使用物品の消毒を行います）
- ・非接触型体温計（体調確認を行っていただきます）

iv. 検温

検温スタッフの指示に従い必ず検温にご協力ください。

※37.5度以上または平熱比+1度以上の方、体調が優れない方、検温を拒否する方の参加を禁止します。

v. マスク着用

飲食時以外は必ずマスクを着用してください。

vi. 対人距離の確保

活動中の座席や移動時においても、できるだけ2mを目安に距離を確保してください。

vii. 換気の実施

冬の寒い時期においても換気を行います。2方向の扉・窓を開け空気の通り道を作るなど、定期的に換気を行います。

viii. 活動内容の制限（飛沫の防止）

「大きな声」「高唱」「激しい呼気」を伴う活動は禁止します。

ix. 手指の消毒・手洗い

手指の消毒・手洗いをこまめに行ってください。会場を出入りする場合は、その都度、アルコール消毒をお願いします。

x. 食事について

食事の際は、2メートル間隔をあけた座席に座る、もしくは、飛沫防止パネルを設置した箇所です。

っていただきます。食事のとりわけや、人と食器を共用することを禁止します。飲食時以外は、必ずマスクを着用してください。

xi. 宿泊について

宿泊時は、個室（バス・トイレつき）を使用します。自分の部屋以外の個室への立ち入りを禁止します。

xii. 健康チェックについて

起床時・就寝時を目安に、「健康チェックシート」を記入し、提出していただきます。

xiii. 体調不良者が発生した場合

病院の受診が必要な場合、東京都発熱相談センターより指定された新型コロナ外来または最寄りの病院にて受診していただきます。体調不良によって発生する医療費やその他費用は自己負担となります。

【プログラム参加後】

プログラム参加後2週間、「健康チェックシート」を記入していただきます。

参加後2週間以内に新型コロナウイルス感染症の陽性診断があった場合は、速やかに当財団に連絡してください。

日常生活の中でも、感染予防に努めてください。



以上